

鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事における激突災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	11~12	撤去工事の現場に行く為、会社1階の倉庫にて防音シートをトラックに積み込む作業の際、防音シートを電動アップスライダーに乗せる作業を行うため階段を上り、安全ロープに安全帯をかけ整える際、バランスを崩して飛び下り、着地時に両足踵を骨折した。	58	—
2	6~7	当事務所1階倉庫内で現場に出かける準備をし、軽ワゴンボックス車の後方ドアを閉める時に下げた弾みでドア左下角を右額に強く打ち6針縫合した。（後方ドア左側に立ち右手でドアを下げた。）	24	1~9
2	10~11	事業所の倉庫内において、作業員2名で道具の整理及び修理を行っていた。倉庫内の床よりレールジャッキ（16kg）を棚に移動する際、片手で作業していたので、持ち上げらず、勢いをつけて振り上げた時、棚の角とレールジャッキの間に指を挟み負傷した。	24	10~29
3	9~10	足場の組み立て完了後、足場残材を下ろしている作業中、900枠材を持って外部足場最下段を降りているときに、持っている枠材が足場に引っ掛かり、その引っ掛かりを外そうとしたところバランスを崩して足を踏み外した。その際、高さ調節で使っている踏台の角に右腕をぶつけ、持っていた物で腕を挟まれた。	33	100~299
3	15~16	屋上の大型室外機の天井プロペラ部分を解体中、工具を取ろうとし片足で飛び降りた所、地面に埋め込まれていたコンクリートブロックの上に着地してしまい足を挫いた。	31	1~9
4	17~18	会社の置場でトラックからセメントをおろしていて、タイヤに足をかけ足がタイヤから外れ、鎖骨を荷台のあおりにぶつけて骨折した。	32	1~9

5	14~ 15	建築基礎工現場にて梁底型枠を取り外す作業中、ハンマーで型枠を叩きコンクリートから剥がす際にコンクリートに右手をぶつけた。	47	1~ 9
5	13~ 14	1階廃材積込場所でカゴ車にて廃材コンテナに廃材（ボード屑）を積み込み作業中、床と廃材コンテナとの段差が28cm程度あり、鋼製布板を2枚（W500+240）を平行に設置し、スロープを作成してカゴ台車で積み込んでいた時、W240の鋼製布板が外れ、そのはずみで右脛を打撲挫創した。	35	30 ~ 49
5	11~ 12	現場敷地内にてトラックへの型枠材積み込み時、トラックから下りるときに後ろ向きにジャンプして下りようとし、型枠材（荷台上）に足が引っ掛かって転落し、左膝を強打した。	38	30 ~ 49
6	14~ 15	個人宅新築工事現場にて建方作業中、休憩前の清掃のため、1階の天井パネル上から右手にインパクトドライバーを持ち、足場の昇降階段を下りている際に、足場の建地のクサビ部分（つめ）に、右手の甲を打ちつけ、翌朝、腫れた。	33	10 ~ 29
6	11~ 12	共同住宅新築工事の基礎工事にて、立ち上り型枠を立て込むためのセパレーターをベースコンクリートに、手打ちコンクリート釘にて固定を行った際、打ち損じた釘が跳ね返り、左目眼球に刺さった。その時、保護メガネはヘルメットの上であり、使用されていなかった。	27	1~ 9
7	7~8	鉄骨造2階建て事務所棟建設工事現場で基礎コンクリート打設前の型枠の修正作業中、地山から型枠へ乗り移る際に土留用単管に腰袋が引っ掛かり、足を踏み外し、前のめりの体勢になったまま型枠から突出した木材に腹部を強打した。	68	1~ 9
7	9~10	トラックの荷台上で荷付けの作業中、事業主がユンボで資材をトラックへ積み込もうとしたところ、資材に当たらないよう体を避けたためバランスを崩しとっさに地上に飛び降りた際、左足の踵を負傷したもの。	62	1~ 9
7	9~10	被災者は屋上パラペット部の鉄筋組立作業において、材料を受け取るため、勾配屋根スラブ上を移動中、頭上の安全帯取付設備（単管）に頭部をぶつけ、負傷した。	42	10 ~ 29
7	12~13	足場上部からパラペットに飛び移った際、転倒した。	63	30 ~

				49
7	9~ 10	自社資材センター内において、ストックヤードに2t車の荷台から積荷（足場資材）を荷下ろし作業中に、籠パレットの上からバランスを崩し、転倒しかけて着地した際、全体重が左足にかかり、左膝の半月板を損傷した。	35	10 ~ 29
7	8~9	1階ステージより4tダンプ（深ボディ）にコンクリートガラの積込み作業中、車輛の荷台縁に積込み用のコンテナをのせる際、別のコンテナを踏み台にしていたためバランスを崩し、コンテナが車輛とステージ手摺との間に落下した。その際、落下するコンテナを手放せず一緒に転倒したため、ダンプのボディに頭部を強打し、瞼の上を裂傷した。	62	50 ~ 99
7	11~ 12	共同住宅新築工事現場内において、4階外部足場より1階までコア抜きマシンの刃を下ろす途中、頭をぶつけて、尻もちをついた。その際、立ち上がる時に腰に痛みを感じた。	52	1~ 9
9	11~ 12	鉄筋コンクリート造地上5階建住宅棟建設現場のB棟3階にて、1階からダメ穴を使い材料上げをしていた、3階にいた被災者がダメ穴から下穴を覗き込んだ際、下から上がってきたサポートが左顎に当たってしまった。	27	10 ~ 29
10	10~ 11	当社資材センター内にて大型トラック（クレーン付）を使用し資材の片付け、整理作業中、強風にあおられ体勢を崩し、転落しそうになり、荷台より1.2m下へ飛び降り、右足踵を骨折した。	57	10 ~ 29
10	8~9	搬入ヤードで、搬入車両（コンテナ車）荷台の上でOAフロア材を開梱している時、他の作業員からハンマーの置き場所を聞かれ教えようとして荷台（1300mm）から飛び降りたが、着地の際に右足を強打した。それにより、右脛骨腓骨を骨折してしまった。	36	1~ 9
10	8~9	朝礼KY終了後2階から1階に下りる折り返しの所で2回目の材料を1階へとりに行くときに少し足がもたつき、ネットにかけるハネ出の足場へほぼ骨を打ちほぼが切れ眼球から出血した。	68	1~ 9
10	10~ 11	新築工事作業所内の北側外構工事で給水遠隔メーターの支柱を仮設置し、立ち上がった際に地盤状況が悪く、足を取られてよろけ、膝をついた。その際、U字溝	56	30 ~

		(コンクリート製)の角に膝をぶつけてしまい被災した。		49
10	9~ 10	造成現場にて、擁壁築道工事の作業中、高さ1.8m程度の足場上を移動している際、パイプサポートが斜めに足場板を貫通するために開いていた隙間(20cm×30cm程度)に右足を取られ、バランスを崩し、築道中の擁壁型枠、サポートの鉄パイプ等に右肩を強打し被災した。	31	30 ~ 49
11	16~ 17	当日、当事業所資材置き場内にて、システム部材(長さ1800mm素材鉄)の手摺りを手運び中、振り向いた際に、近くに積んであった支柱(長さ3600mm素材鉄)の束に利き手である左手をぶつけ被災した次第である。	21	10 ~ 29
11	17~ 18	個人宅新築工事の現場で、片付けた荷物を、トラックの荷台に積み込み、ロープで固定する作業中、ロープを強く引っ張ったところ、ロープが切れ反動で、後方に尻もちをついた時、とっさに右手をつき、手首を負傷した。	57	1~ 9
12	9~10	自社工場の前にて、トラックの荷台より降りるときに変な足のつき方をしたため、捻って左膝を負傷した。	51	1~ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html